
アオゾラ。

mixer

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アオゾラ。

【Nコード】

N9286J

【作者名】

mixer

【あらすじ】

切ない 苦しい 愛おしい でも 届かない
女子なら誰もが通る道。あなたも きつと、

知らなかった
貴方なんて知らなかった
その日　そこで　ステージの上で
ギターを鳴らす貴方から目が離せなかった

誰　誰　誰

そして貴方を知った

校舎で擦れ違う
その一瞬に涙が出そうになった
時が止まればいい、何度も思い、そして想った

この気持ちは憧れだと思ってた
ある日聞いた　これは恋
悲しく切なく愛おしい　これが恋

でも何もしなかった　出来なかった
わたしは貴方を知っているよ
こんなに　こんなに　こんなに

でも貴方は知らない
わたしを　知らない

気軽に肩を叩く友人
髪をくしゃくしゃにする女子
「昨日さ」という雑談

なんで

なんでわたしは貴方より
遅く生まれちゃったのかな
わたしが居ない貴方の居る世界があった

口から出ない不満は
血管を伝って目から液体として出る

そんな貴方は今日居なくなる
梅の花は散り始め
桜の蕾は膨らむ
青空には見えない春の匂い

このまま貴方と別れるなんて
二度とギターを鳴らす姿を見られないなんて
いやだ いやだいやだいやだ
下唇を噛んだって
目から出る液体を止められる訳ないのに
口を押さえたって
嗚咽は止まりやしないのに

愛しい愛しい 貴方が 愛しい

距離は10メートル

息を吸い、涙を拭い、歩き出す

9メートル、8メートル、7メートル、

髪型 おかしくないかな

6メートル、5メートル、4メートル、

心臓が 口から出そう

3メートル、2メートル、1メートル、

前がどの方向だか分からない
心臓の音で周りの音が聞こえない
顔に血液が集中してるのが分かる
手は小刻みに震えている

息を吸った

口を開き

お腹に小さく力を入れた

「あいつ、先輩！」

前に居る人物は振り返る

これほどまでに

人を愛しいと思うことがあるのか

恋とはこれほどまで人を錯乱させるのか

「わたしっ…一年のっ…」

見上げた視界に

世界で一番愛しい人と

優しい青空が微笑みかけてくれた

(後書き)

初投稿です

文才…ないです

自己満足ってことで

笑って許してください

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9286j/>

アオゾラ。

2011年1月16日03時03分発行